

平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年4月27日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 4463 URL http://www.nicca.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213 (代表)
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	11,279	14.1	476	56.7	452	23.2	148	△33.5
28年12月期第1四半期	9,886	△9.6	303	△67.1	366	△62.4	222	△55.2

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 268百万円 (-%) 28年12月期第1四半期 △575百万円 (△196.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	9.44	—
28年12月期第1四半期	14.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第1四半期	50,491	19,327	33.5	1,077.81
28年12月期	50,580	19,417	33.3	1,074.39

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 16,911百万円 28年12月期 16,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,500	7.3	700	△20.7	700	△15.8	400	△0.6	25.49
通期	46,000	4.0	1,600	9.7	1,600	0.7	2,200	534.6	140.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期1Q	17,710,000株	28年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	2,019,052株	28年12月期	2,019,016株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期1Q	15,690,957株	28年12月期1Q	15,690,984株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 金額の表示単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

これにより、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても比較を容易とするため、百万円単位の記載に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（自平成29年1月1日至平成29年3月31日）におけるわが国経済は、企業業績が内外需用の持ち直しを受けて好調に推移していることに加え、個人消費にも雇用者数の増加、物価上昇率の低下などを背景に持ち直しがみられるなど、緩やかな回復基調で推移しております。一方で、中国の景気減速や米国新大統領の就任、フランスをはじめとする各国での首班指名選挙が引き続き予定されており、世界経済への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な事業活動を推進した結果、売上高は112億7千9百万円（前年同期比14.1%増）、営業利益は4億7千6百万円（同56.7%増）、経常利益は4億5千2百万円（同23.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億4千8百万円（同33.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

① 化学品事業

売上高は82億1千2百万円（同12.3%増）、セグメント利益は2億6千3百万円（同6.7%増）となりました。

主力である繊維加工用薬剤の新規案件獲得を国内外において推進したことに加え、半導体市場向け製品、製紙用薬剤、非イオン活性剤のほか、新たに上市した機能性樹脂製品の販売が堅調に推移したこと、ニッカKOREA CO., LTD. における製造受託事業の受注が好調であったことから、売上高は増加しました。

② 化粧品事業

売上高は29億円5千8百万円（同19.0%増）、セグメント利益は6億1千万円（同28.7%増）となりました。

国内美容サロン業界全体が低迷する中、当社デミコスメティクスやイーラル株式会社の販売も伸び悩んでいる一方、山田製薬株式会社における化粧品製造受託事業や、DEMI KOREA CO., LTD. における販売が引き続き好調であることから、売上高は増加しました。

③ その他

売上高は1億8百万円、セグメント損失は1千万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、8千8百万円減少し、504億9千1百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、0百万円増加し、311億6千3百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加、支払手形及び買掛金、賞与引当金の減少であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、8千9百万円減少し、193億2千7百万円となりました。為替換算調整勘定の減少及び非支配株主持分の減少が主な要因であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の33.3%から33.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月10日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,882	5,957
受取手形及び売掛金	11,029	9,920
商品及び製品	3,977	4,019
仕掛品	717	679
原材料及び貯蔵品	3,089	3,083
その他	1,794	1,799
貸倒引当金	△42	△43
流動資産合計	26,448	25,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,518	9,375
機械装置及び運搬具（純額）	2,214	2,318
土地	6,231	6,279
その他（純額）	1,932	2,864
有形固定資産合計	19,897	20,838
無形固定資産		
のれん	100	79
その他	633	614
無形固定資産合計	733	694
投資その他の資産	3,500	3,542
固定資産合計	24,131	25,075
資産合計	50,580	50,491

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,310	4,487
短期借入金	15,264	16,872
未払法人税等	279	279
賞与引当金	631	249
その他	3,128	2,927
流動負債合計	24,614	24,816
固定負債		
長期借入金	2,135	1,915
退職給付に係る負債	3,086	3,094
厚生年金基金解散損失引当金	494	494
その他	832	842
固定負債合計	6,549	6,347
負債合計	31,163	31,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	3,054	3,054
利益剰余金	12,131	12,123
自己株式	△1,478	△1,478
株主資本合計	16,606	16,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	421	471
為替換算調整勘定	214	208
退職給付に係る調整累計額	△384	△366
その他の包括利益累計額合計	251	314
非支配株主持分	2,558	2,415
純資産合計	19,417	19,327
負債純資産合計	50,580	50,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	9,886	11,279
売上原価	6,333	7,604
売上総利益	3,552	3,674
販売費及び一般管理費	3,248	3,198
営業利益	303	476
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	4	4
持分法による投資利益	15	21
為替差益	1	—
助成金収入	35	38
その他	75	30
営業外収益合計	139	100
営業外費用		
支払利息	22	22
為替差損	—	49
売上割引	21	21
その他	33	31
営業外費用合計	76	124
経常利益	366	452
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損	0	—
投資有価証券評価損	0	—
減損損失	—	22
特別功労金	25	2
特別損失合計	26	25
税金等調整前四半期純利益	341	426
法人税等	69	235
四半期純利益	272	190
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	42
親会社株主に帰属する四半期純利益	222	148

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益	272	190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	49
為替換算調整勘定	△806	9
退職給付に係る調整額	△0	18
その他の包括利益合計	△848	77
四半期包括利益	△575	268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△493	210
非支配株主に係る四半期包括利益	△82	58

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年1月1日至平成28年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,313	2,486	9,800	85	9,886
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	6	6	50	57
計	7,314	2,493	9,807	136	9,944
セグメント利益	247	474	721	20	742

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	721
「その他」の区分の利益	20
セグメント間取引消去	△32
全社費用（注）	△405
四半期連結損益計算書の営業利益	303

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年1月1日至平成29年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,212	2,958	11,171	108	11,279
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	4	5	11	16
計	8,212	2,963	11,176	119	11,295
セグメント利益	263	610	874	△10	864

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	874
「その他」の区分の利益	△10
セグメント間取引消去	6
全社費用（注）	△394
四半期連結損益計算書の営業利益	476

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。